

言語活動の充実

教材と読書をつなげる!

子どもたちの読書力を高めるため、教科書の教材と読書をつなげる授業の工夫を行っています。



1年生
教科書の「じどうしゃくらべ」で仕事とつくりに分けて書く学習した後に、じどうしゃずかんをつくることで、じどうしゃのことを書いた本にたくさんふれる活動を行いました。



2年生
教科書の「スイミー」で、登場人物の行動をペーパーサートを使って表現する学習をした後に、並行読書してきたレオ＝レオニの作品のお気に入りの場面をペーパーサートを使って発表する活動を行いました。



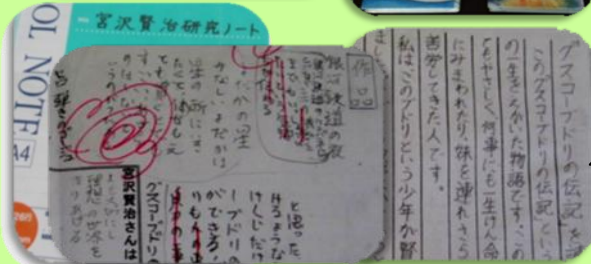
3年生
教科書の「すがたをかえる大豆」で、組み立てシートを使って、説明の順序の決め方や接続語の使い方を学習しながら、自分の決めた食べ物の変身ブックをつくる活動を行いました。



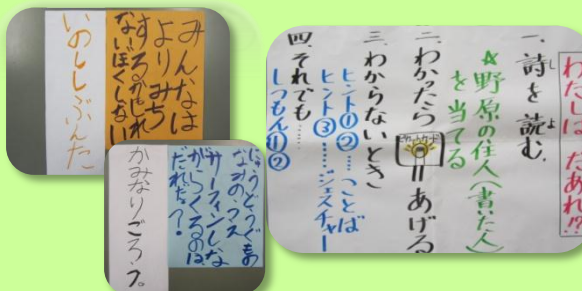
4年生
教科書の「本は友達」の学習で、本を選ぶポイントとして、題名、表紙のさし絵、目次、あらすじの項目にしたがってワークシートにまとめていくことで、選書の力を高める活動を行いました。



5年生
教科書の「大造じいさんとガン」で話のあらすじや叙述のすぐれたところをショーウインドウとして紹介する活動を行った後に、椋鳩十の他の作品をショーウインドウにまとめる学習を行いました。



6年生
教科書の「イーハトーヴの夢」を学習した後に、「やまなし」をはじめ宮沢賢治の他の本を読み進めながら、作品に込められた作者の生き方・考え方を考えるなど、宮沢賢治の世界を研究ノートにまとめる活動を行いました。



特別支援学級
教科書の「のはらうた」を読んで、草むらに住む住民の名前の付け方や季節の様子を表す学習をした後に、自分たちのつくった詩をアニメーションゲームとして作成し、他学年に当ててもらった活動を行いました。